

二期目に向けたマニフェスト【若桜町がんばるプラン_season2】

- テーマ：「足腰の強い地域社会へ。にぎやかなまちづくりにチャレンジ！」
～ 力強い地域経済ときめ細かな生活支援と町民のつながるチカラと ～

① 町民の暮らしを守ります

買い物環境・地域医療・地域公共交通の利便性を高め、防災・減災対策や空き家対策を強化します。

○買い物環境の確保

- ・ 買い物環境の確保、移動販売の支援
- ・ 弁当・総菜の宅配等利便性の向上

○地域医療の充実

- ・ 町内医療機関と連携してオンライン診療の導入
- ・ 眼科・精神科・小児科など町内にない診療科のオンライン診療導入の検討

○地域公共交通

- ・ 共助交通のエリア拡大と住民ドライバー主体の運行体制の構築
- ・ グリーンスローモビリティの導入と利用促進、観光の二次交通の確保
- ・ 若桜鉄道の車両更新と持続可能な運行体制の整備、住民の利用促進

○高齢者等の生活支援

- ・ 高齢者や障がい者のグループホームの整備検討
- ・ 終活サポート

○生活インフラの計画的な整備・更新

- ・ 来見野・栃原の緊急車両に対応した生活道路整備
- ・ 町道・橋梁の計画的な維持・補修
- ・ 上下水道の計画的な維持・更新

○除雪対策

- ・ 消雪設備の維持管理、計画的更新
- ・ 道路除雪体制の確保、集落内の除雪支援

○防災・減災対策

- ・ 備蓄品の確保・充実、県と連携した広域備蓄の充実
- ・ 避難所のアメニティー向上
- ・ 受援計画の策定

○空き家対策の促進

- ・ 第2次空家調査の実施
- ・ 民間事業者と連携した特定空き家の解体促進

○SDGS、脱炭素

- ・ 町有林を対象としたJ-クレジットの販売促進
- ・ 小水力発電の促進、町直営の小水力発電の検討

② 町民の健康増進や認知症対策の充実に努めます

高齢者のフレイル予防や若い世代からの生活習慣病予防など町民の健康寿命の延伸に努めるとともに、認知症の方々が尊厳をもって暮らし続けられる地域社会の実現を目指します。

○高齢者のフレイル予防

- ・筋力アップ体操教室や地域サロンの開催など

○生活習慣病対策

- ・若い世代から健康への関心を高める取組

○認知症対策

- ・地域全体で患者や家族をサポートする体制づくり

③ 産業を振興し、地域経済を潤します

林業・木材産業の付加価値を高め、素材生産量を増やす環境づくりを進めます。耕作放棄地の拡大を防ぎ、特産品の振興に取り組みます。デジタル地域通貨の利用を促進し、地産地消による地域経済の循環を強固なものにします。

○林業、林産業の振興

- ・木材加工等6次産業化の促進など林業・林産業の高付加価値化
- ・素材生産量拡大の環境整備（路網整備、山林境界明確化など）
- ・木育や林業体験など子どもたちが木に親しむ環境づくり
- ・木地師文化の復活、たくみの館木工室のリニューアル

○特産作物の振興

- ・若桜米やエゴマの有利販売、販路開拓
- ・そばや夏イチゴなどの特産化
- ・広留野高原など冷涼地を活用した特産作物の検討

○ローカルビジネス支援

- ・旧校舎など遊休施設を活用した起業促進
- ・集落や高齢者のいきがい起業のサポート
- ・吉川地区でのそばの店舗の整備促進

○デジタル地域通貨おにっこ P a y の利用促進

- ・対象店舗の増加、行政ポイントの拡充、観光客など対象者の拡大、支払機能の拡張、キャンペーンの実施等おにっこ P a y の利便性向上と利用促進

④ お金の稼げる観光産業を目指します

氷ノ山や若桜鉄道などの観光資源を活かし、古民家を活用した宿泊・滞留施設の整備、体験メニューの造成とガイドの養成、土産物の魅力向上を進めるなど滞在型観光への取組を強化し、地域経済への波及効果を高めます。

○古民家を活用した観光まちづくりの展開

- ・(株)NOTEと連携した古民家を活用した分散型ホテルのまちづくり

○都市計画マスタープランに基づく宿内のまちづくりの展開

- ・重伝建エリアの景観の美装化（無電柱化、美舗装化、まちのサイン）
- ・重伝建や鬼ヶ城址等の紹介機能を持つプラットフォームの整備
- ・駅周辺の滞留施設の整備
- ・歩いて楽しいまちづくり（まち歩きを意識したルートづくり、道の駅と若桜駅を結ぶ跨線橋の検討、デジタルスタンプラリー等ソフトの充実）
- 若桜鉄道の観光列車運行の検討
 - ・DLを活用した観光列車の導入検討
 - ・老朽化した12系客車への対応
- 氷ノ山のオールシーズン集客促進
 - ・高天原の整備検討
 - ・クロスカントリー公認コースの検討（夏はマウンテンバイクコース）
- 文化財の保存と活用
 - ・若桜鬼ヶ城の整備と情報発信、松本薫氏の小説の発行
 - ・岩屋堂の侵入防止柵の更新
 - ・若桜神社や江嶋神社の魅力発信
 - ・落折の落人伝説の発信
- アウトドア系観光資源の掘り起こし
 - ・滝めぐり、シャワークライミング、溪流釣り、清流キャンプ、リスなど野生動物ウォッチング、スノーシュー体験など各種自然体験
- インバウンドの受け入れ
 - ・台湾、香港、タイなどからの誘客促進
 - ・多言語化対応など受入れ体制の整備
- 観光協会の組織体制整備
 - ・一般社団法人化、地域DMO（DMC）の取得、人的体制の整備
 - ・道の駅側にも観光案内機能を充実
- 体験メニューの造成、ガイドの育成、土産物の魅力向上
 - ・若桜ならではの体験メニューの造成と指南できるガイドの養成
 - ・地元こだわった土産物のブラッシュアップ
 - ・滞在型観光の受け皿づくりでお金の稼げる観光産業にシフト

⑤ 関係人口の増加を目指します

移住・定住の促進や少子化対策など人口減少対策を強化するとともに、人口が減っても地域社会が維持できるよう関係人口の増加に努めます。

- 移住促進
 - ・移住政策の点検・見直し
 - （ターゲット、情報発信、住居、アフターフォローなど）
 - ・新町アパート、旧寄宿舎の整備、空き家の流動性向上など住まいの確保
 - ・地域おこし協力隊の増員
- 少子化対策

- ・結婚支援対策、弁天結びの活動
- ・第2子、第3子の出産・子育て支援
- ・プレコンセッションケアの導入
- ・山村留学制度の導入（若桜に合った制度として小さく始める）
- 関係人口と連携したまちづくり
 - ・ふるさと住民登録制度の活用
 - ・コワーキングスペースや簡易宿泊施設などの環境整備
 - ・町出身者（鳥取若桜会など）との連携強化
 - ・大学生の視点を活かしたまちづくり
 - ・官民共創（カシオ&地域教育推進局、天満屋、NOTE、九州PFI等）
 - ・大学連携（鳥取大学地域未来共創センター、鳥取環境大学、鳥取短期大学、鳥取看護大学等）
- 台湾・韓国との交流
 - ・民間経済交流・草の根交流の促進

⑥ 町の未来を担う人材を育てます

若桜学園でのふるさと教育の充実や高校生ボランティアの支援など子どもたちの地元愛を育むとともに、まちづくりをリードする若い人材を育成します。

- ふるさと教育の推進
 - ・各学年で若桜の自然、文化、歴史にふれる体験教育の実施
- 国際理解教育の推進
 - ・台湾の小学生との相互交流
 - ・英語圏での語学留学
- まちづくりリーダーの育成
 - ・若者、女性、起業家など各層のリーダー塾、高校生ボランティアの育成

⑦ 町民のつながる力で町の機能を高めます

町民が集い、つながる場を増やし地域コミュニティを活性化することで、防災・防犯・健康づくり・地域経済など様々な面で町の機能を高めます。

- 人が集まりつながる場づくり
 - ・デジタル地域通貨を活用した行政ポイントの拡充
 - ・100万人のクラシックライブの活用
- 食でつながる居場所づくり
 - ・地域食堂×イベントなどで人が集まりコミュニケーションが深まる仕組み
 - ・弁当宅配の検討（池田食堂）
- 集落活性化対策
 - ・集落支援員の拡充（若桜地域でも）、きめの細かい支援、終活サポートなど
 - ・特に奥の集落の活性化（落折、眷米、吉川、諸鹿）

⑧ 持続可能な自治体運営に努めます

町内各分野での人材不足に配慮しつつ、官民共創により民間のノウハウを積極的に活用するとともに、役場内の業務の効率化や財源の確保に努めます。

○人材不足対策

- ・ 特定地域づくり事業協同組合の拡充
- ・ 人材シェアの仕組みづくり（複業、半農半Xなど）

○マルチタスク車両による行政機能の出張サービス

- ・ 移動期日前投票の実施
- ・ 災害時現地対策本部としての活用
- ・ 住民票や印鑑証明の発行、マイナンバー手続など

○バックヤード業務のDX化

- ・ 生成AIの活用

○地域活性化企業人の積極的な登用

○遊休公共施設の利活用・処分

- ・ 旧眷米分校、旧池田小学校の利活用
- ・ 高野の作業所の地元売却、町営住宅の解体

○住民広報の見直し

- ・ LINEを使った広報の検討
- ・ 各種広報媒体の点検・改善

○財源の確保

- ・ ふるさと納税の地元返礼品の開拓
- ・ 企業版ふるさと納税、クラウドファンディング、遺贈寄付の啓発